

たけがしま 竹ヶ島

再生 目標

エダミドリイシが健全な状態で生き続けていける環境を取り戻す

DATA

エリア：室戸阿南海岸国定公園
所在地：徳島県海部郡海陽町
着手：H15

竹ヶ島海中公園自然再生協議会

概要：サンゴを中心とした沿岸生態系の回復を図ることを検討。

設立日：H17.9.9

構成員数：54

全体構想作成日：H18.3.31

実施計画作成日：未作成
(H21.3 現在)



対象範囲



浮泥などによる水の濁り



サンゴの白化現象

阿波竹ヶ島海中公園は、徳島県と高知県の県境に位置し、黒潮分岐流の影響を受け透明度が高く、鮮やかな緑色のエダミドリイシの大群集やシコロサンゴなどの生物群集が織りなす海中景観の美しさから、1972年に海中公園に指定されました。

しかし、湾入口部への防波堤等の整備により

湾内静穏度の向上が図れたものの、外海水との交流量が減少し、透明度が低下するなど、海中公園としての質が低下しています。このため、協議会において全体構想を作成し、これに基づきやま・かわ・うみのエリアにおいて自然再生活動を進めています。

自然再生の手法

- ▶ 海中公園周辺の環境改善→①
- ▶ エダミドリイシの特性把握→②
- ▶ 陸域からの環境負荷の軽減
- ▶ 海中公園と共生する地域漁業の活性化

再生目標を達成するため、エダミドリイシの増殖育成手法の確立、防波堤の改良による流況の改善や人工林における適切な間伐支援など流域全体を視野に入れた活動を行います。



① 防波堤の改良による流況改善

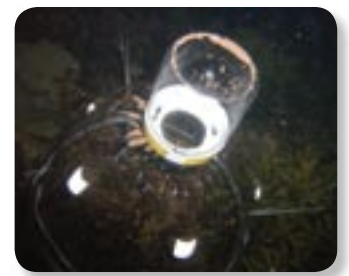
湾入口部への防波堤の設置によって、潮流の流速や海水交換率が低下し、サンゴ類を中心とした海域生態系への影響が生じています。この状況を改善するため、現在既設防波堤の改良方法を検討しています。



現在の防波堤

② エダミドリイシの特性把握

竹ヶ島海域において、エダミドリイシの増殖の方法を検討しており、平成18年に徳島県内で初めてエダミドリイシの採卵に成功しました。採卵された卵は高知県の黒潮生物研究所で飼育され、現在は生育したサンゴ幼体の一部を竹ヶ島海域内に移し、中間育成をしています。



採取器に入ったエダミドリイシの卵塊

関連ホームページ

竹ヶ島海中公園自然再生事業：<http://www.takekashima.jp/>